

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:令和 5 年 1 月 31 日

公表 令和 5年2月8日

事業所名 チャイルドウィッシュいわの

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4			
	2	職員の配置数は適切である	3	1	配置基準を意識した配置を考慮している。 引き続き増員へ向けて求人を行う。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4		クッションマットなどの段差部分にはスロープ板を設置していく。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4		毎日のミーティングで情報の共有と問題の改善を話し合っている。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4		アンケートの結果を全職員で共有し、課題の明確化を図っていく。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4		ホームページで行っていく。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	1		本部と相談して検討していく。
8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4		本部研修・指導員研修にでき限り参加している。	研修報告を共有していく。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	4		事前にミーティングを行い職員間で話し合っている。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	4		毎日のミーティングで立案している。	スタッフ一人一人の想像力の向上を図る。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4		支援後に振り返りを行い、次のプログラムに生かしている	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	4		学校休業日には別の活動立案書を作成している。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	4		毎朝ミーティングで活動内容や進め方について打ち合わせを行っている	場合によってはスタッフの増員が必要なため、配置人員を多めに考えていく。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4		毎朝ミーティングで確認している。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4		支援後のミーティングで必ず振り返りを行っている	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4		その日の支援のカルテは翌日までに記入している。	カルテ記入内容を共有し、徹底していく。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	4			開所したばかりでまだモニタリングは行っていないが、6ヶ月ごとに又は未滿でモニタリングを行っていく。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	4			ガイドラインの基本活動の総則を再度確認し、支援を行っていく。

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4		管理者・児童発達支援管理責任者が参加する体制をとっている。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	4		学校からの月毎の予定をチェックし、送迎時に担任から様子を聞いている。	必要であれば担任、及び管理職と話し合いの場を設けていく。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	2			現在医療的ケアの必要な児童の受け入れは行っていない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	4			今後行っていきたい。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	1	2		該当する児童はいない。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2	1		連携体制の整備を行っていきたい。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1	2		今後は行っていけるよう検討していきたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	3	1		積極的に参加できるよう体制づくりをしていきたい。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4		日々の記録や送迎時の情報交換で行っている。	
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	3		会報誌で知らせたり、本部の保護者向け配信を薦めている。	
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4		保護者の理解が得られるよう丁寧な説明を心掛けている。	契約時加算等について重要事項説明書を用いて説明を行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4		いつでも保護者の方の悩みや相談に応じる体制をとっている。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	4		ぺあれんとサークルの開催。	定期的にぺあれんとサークルを開催していく。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	4		苦情があった場合の報告、連絡、相談体制づくりを確立している。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4		会報誌を定期的に発行している。	
	35	個人情報に十分注意している	4		ミーティング等で個人情報保護については確認している。	例えば写真撮影などは一覧にして見える化している。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4		言語だけでなく視覚的アプローチも行っている。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3	1	地元の行事に参加している。	個人情報保護の観点から行っていないが、今後外部講師を招くなどの外部との接点を作っていきたい。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	4	契約時に説明しながら配布している。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	3		開所したばかりでまだ行っていないが、計画している。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	3	定期的に研修を行って自己検証している。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	4	身体拘束の事態にならないために予防策について日々情報共有し、話し合っている。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	保護者からのアレルギーに関する情報を共有している。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4	日々のミーティングでヒヤリハットの共有をしている。	事例集を作成する予定。